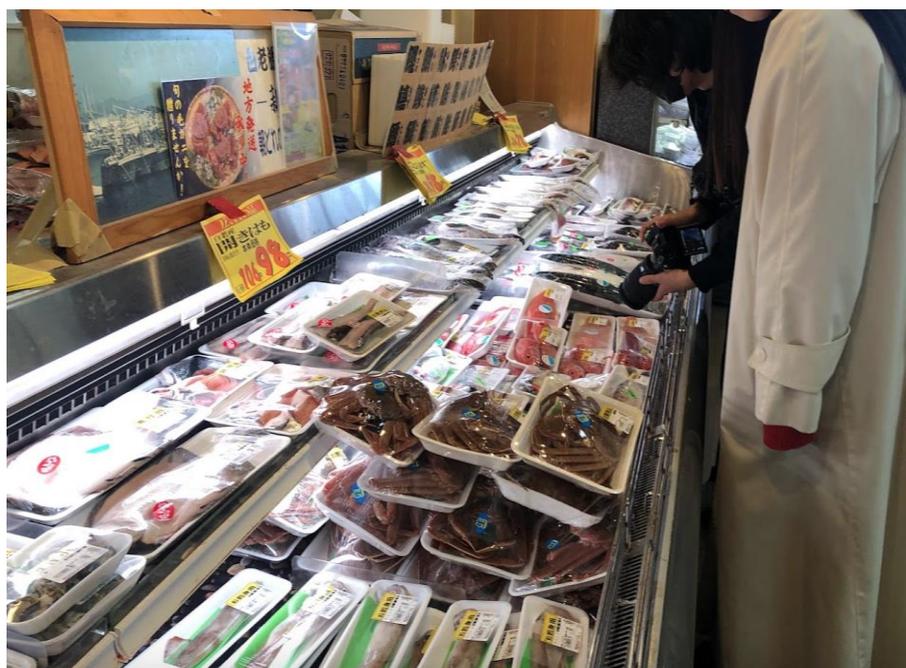


写真展、トーク、ワークショップ

魚のある暮らし

—白老とシベリアのお話—



2023 11/25 |土|

入場無料

会場 またたび文庫（白老町大町3丁目9-11 ひこばえ）

スピーカー 八幡巴絵（国立アイヌ民族博物館）
大石侑香（神戸大学）

主催 ACSII ArCS II 社会文化課題



またたび文庫



東北大学東北アジア研究センター

協力 いぶり中央漁業共同組合白老支社
合同会社WakuWakuしらおい

みてみよう

2023 11/25 |土| 13:00-17:00

白老とシベリアの魚のある日常（暮らし）を
テーマにした写真展です。



きいてみよう

2023 11/25 |土| 13:00-14:00

入場無料（要予約・20名）

企画者イチオシのゲストスピーカー2人が対談形式でお話しします！
お申込みは「またたび文庫」まで。（matatabibunko@gmail.com）

1. 白老の漁業をフカボル



八幡巴絵
(国立アイヌ民族博物館)

漁業をしている父親の仕事をみたときに、
アイヌの文化遺産が残っているのかもと
思ったのがきっかけで白老の漁業とアイヌ
文化の関係について調べはじめました。
漁業の道具が大きく変化していく昭和期に、
どのようにアイヌ文化が伝承されてきたの
かについてお話します。

2. 白老の暮らしとヒカクする



大石侑香
(神戸大学)

西シベリアの先住民族のハンティのトナカイ
牧畜について調べています。
かれらはトナカイ肉を食べますが、実は魚の
方が好きで、年中川や湖で魚を捕って毎日の
ように食べます。魚を捕る技術や魚料理につ
いて紹介しながら、白老と比較して何が見え
てくるのかをお話します。

やってみよう

2023 11/25 |土| 14:00-17:00

参加無料（随時受付）

白老でとれたスケソウダラでつくった棒鱈（ぼうだら）を叩いて
ほぐして食べてみよう！白老の家庭ごとの棒鱈レシピも紹介します。
ぜひ、好きな食べ方を見つけてみてください。